

ひらけゴワ!

しずおかしりつとしょかん 静岡市立図書館 Vol . 130 (2017 あきごう 秋号)

とくしゅう
特集 たぬき

えほん 「かちかちやま」

おざわ としお / さいわ再話 あかば赤羽 すえきち末吉 / え画

ふくいんかんしよてん
福音館書店

E アカハ



悪^{わる}さをするタヌキを捕^{つか}まえたじいさま。ばあさまに、たぬきじるをこしらえてもらうあいだに、じいさまは、まちへようたしに出^でかけました。ところが、タヌキは、ばあさまをだまして殺^{ころ}してしまいました。くやしくて嘆^{なげ}き悲^{かな}しむじいさま。そこへウサギがやってきて、「私^{わたし}がきつと仇^{かたき}をとってやる」と言^いって知^ち恵^えを絞^{しぼ}る昔^{むかし}話^{はなし}。



ことわざクイズ! どんないみ?

と たぬき かわざんよう
「取らぬ狸の皮算用」

☆こたえはいちばんさいごのページ

えほん 「こぎつねコンとこだぬきポン」

まつの まさこ ぶん ふたまた えいごろう え どうしんしゃ
松野 正子／文 二俣 英五郎／画 童心社

E フタマ

ある日、ともだちを探しに出かけたこぎつねコンとこだぬきポンは、川をはさんだ崖の上で出会いました。初めて出会ったふたりは、一緒にうたをうたって遊びました。

しかし、お互いに悪い印象を持っている両親は、一緒に遊ぶことを許してくれません。果たして、ふたりはともだちになれるのでしょうか。



えほん 「たまたまタヌキ」

うちだ りんたろう ぶん たかばたけ なお え こうせいしゅつぱんしゃ
内田 麟太郎／文 高 島 那生／絵 佼成出版社

E タカハ



いろいろなものに化けてきたタヌキはふと思いました。「おれはまことにタヌキであろうか……」そんなタヌキにカラスは言います。「おまえは今たまたまタヌキなだけだ。」なんと、たまたまタヌキなのか！そして、たぬきが本当の自分を知るために座禅を組んで今まで化けたものにさかのぼっていくと……？

えほん 「おちばきょうそう」

しらと あつこ／作・絵 ひさかたチャイルド

E シラト

じいじの庭は、落ち葉でいっぱいです。たっくんがはりきっておそうじをしていると、「へたくそだなあ」とタヌキの笑い声。そこでふたりは、落ち葉集めの競争を始めます。気がつくと山のような落ち葉。ふたりは思わず！？



「このはのおかね、つかえます」

もいち くみこ さく つちだ よしはる え
茂市 久美子 / 作 土田 義晴 / 絵

あか 913

モイチ



こうせいしゅつぱんしゃ
佼成出版社

もうすぐこだぬきの誕生日。母さんが欲しいものを聞くと、こだぬきはヤマキヤのソフトクリームがどうしても食べたいと言いました。願いをかなえてあげたい母さんは、こだぬきの誕生日に人間に化け、木の葉をお金にかえて、ソフトクリームを買いに行きました。

「まほろ姫とブッキラ山の大テング」

なかがわ ちひろ / 作 かいせいしゃ
偕成社

あお 913

ナカカワ

まほろ姫はタヌキに育てられたお姫さま。ブッキラ山のカシワの葉っぱを使うと、なんでも思ったものに化けられるのです。しかし、毎月おこづかいとしてもらえる葉っぱは限られています。そこで、タヌキの子どもの茶々丸と一緒にブッキラ山へ探りに行くことにしました。



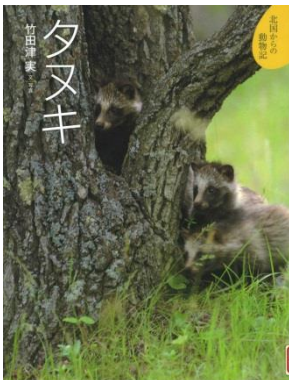
「タヌキ 北国からの動物記7」

たけたづ みのもる ぶん しゃしん
竹田津 実 / 文・写真

489.56

アリス館

タ



キツネの巣穴からなぜだかタヌキが顔を出した。おどろきと同時にうれしくて汗がふき出す著者。キツネとの比較を用いながら、タヌキの気持ちになって、その生態や暮らしを観察した写真絵本。

ごまはかせ と こま太くんの どうやってしらべるの？



こま太くん

こまったなー、こまったなー。はかせ、十五夜^{じゅうごや}について調べたいんだけど……。

十五夜^{じゅうごや}といえばお月見^{つきみ}じゃな。

こま太くんの家でもお月見^{つきみ}をするのかな？



ごまはかせ

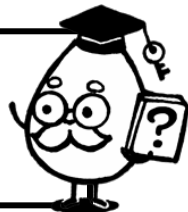


うん、ススキをかざって、お母^{かあ}さんが作^{つく}ってくれたお団子^{だんご}を食べるんだよ。でも、どうして、お月見^{つきみ}する日^ひを十五夜^{じゅうごや}っていうのかなあ？

十五夜^{じゅうごや}は一年^{いちねん}の中で一番^{なか}きれいな満月^{まんげつ}が見^みられる日^ひなんじゃよ。くわしいことは図書館^{としよかん}に行^いって調べてみよう！



行事^{ぎょうじ}のことが書^かかれている本^{ほん}は、3の分類^{ぶんるい}の棚^{たな}にあるんじゃよ。十五夜^{じゅうごや}やお月見^{つきみ}の由来^{ゆらい}がわかるじゃろう。4の分類^{ぶんるい}の棚^{たな}に行^いくと、月^{つき}のひみつ^しを知^しることができるはずじゃ。



あ、あったよ。十五夜^{じゅうごや}のお月見^{つきみ}のこと、わかったよ。それに、月^{つき}にはいろんな名前^{なまえ}があるんだね。

よかったの〜。わしもお団子^{だんご}作^{つく}って、お月見^{つきみ}しようかのう。



表紙^{ひょうし}の
こたえ

まだ捕^{つか}まえてもいないためきの皮^{かわ}を売^うって、もうける計算^{けいさん}をするように、手^てに入るかどうかわからないものを当^あてにして、あれこれ計画^{けいかく}を立てることのたとえ。